

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311051000693
施設名	にじいろ保育園原町
施設所在地	東京都目黒区原町1-5-5
法人名	ライクキッズ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と科学

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

お花の水まきの時に、水が太陽の光に当たった時に虹が見えたことから、光と色の関係に興味を示すようになった。光は子どもたちが日常生活で触れる身近なものであり、乳児も窓からさす光に反射して光に手を伸ばし、追いかけて触ろうとしている姿が見られた。

日頃から光や影や色に興味を持っている姿が見られることから、光によって生じる様々な現象や特性について、子どもたちの興味関心をさらに深めるため。

2. 活動スケジュール

令和7年7月～令和8年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

紙や布など、透過性の異なる様々な素材に光を当てて影の変化を試したり、鏡を用いて光の屈折や反射などを試しながら、光と様々な物の関係性と変化について探究する。

影絵・ペーパークロマトアート・しゃぼんだま・万華鏡・色水・空気砲・プラネタリウムなど

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・サンキャッチャーで、光とにじのかけらづくり。
にじのきれいな色はどうやってできるのか？探求する。

・暗闇で光る発見。スライムの感触を楽しむ。
ブラックライトを使い光を観察する。

・光と影の不思議実験や赤青メガネで飛び出すイラストを作る。
影と光のかたちあそび、飛び出す影で遊ぶ。

・透明なのに偏光板で見ると色々な色が見える。万華鏡やステンドアートをを作る。色や形の組み合わせを想像し考える。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ① 虹ってみたことある？
「虹を見たことある？」「見たことある！」「見たことない！」「虹って何色？」「7色」「2色」「5色」と様々な反応を示していた。
- ② 虹をつくってみよう
「これから虹を作るよ」という言葉を聞き、驚きの反応を示していた。「作れるの！」「どうやって!？」と言いながら覗き込んでいた。CDと懐中電灯を用いて、壁や天井に虹を作ると「わああ！虹だ！」と驚き、喜んでいた。乳児クラスの子も指差しをしながら「キラキラ」「びかびか！」と言ったり、0歳児も集中して天井や壁を見つめていた。そのあとは乳児は大きい透明なシート、幼児は小さいカードを使い、窓から見える太陽や保育室の電気をシートを通して観察。光を見ると虹が見えることを発見し、「見えた！」と喜んでいた。
- ③ 作ってみよう
最後は幼児クラスの製作。ガラスでできた紐がついているミラーボールと光が当たると色が変わる特殊なビーズでキーホルダーを製作した。懐中電灯や太陽の光で色が変わるビーズを見ると「色が変わった！」「やりたい！」と意欲的な発言をする姿が見られた。キーホルダーが完成すると喜んでいた。
- ④ 観察してみよう
サイエンスショーが終わり、各クラスに戻り玄関前でキーホルダーの色が変わるか実験をした。太陽の光にキーホルダーを当てると「ピンクになった！」など白いビーズがカラフルな色になり、喜んでいった。また、「手で隠すと白に戻るよ！」という子どもたちの発見をきっかけに、キーホルダーを手で隠したり、日陰に持っていくと白色に戻るということもそれぞれ試しながら楽しんでいた。室内に戻ると「夜はどうなるんだろう？」「お家に帰ったらやってみる！」と言っていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

目で見える光、光には色があるのがわかり、目で見えるので年齢問わず見ていた。幼児クラスは、外に出て実際の光を当てて輝く様子や色が変わるのを楽しんでいた。新たな発見をし、目を輝かせて光に当ててそれに付いて「なんでだろう」「どうしてかな」と、思い感じ子ども同士で考える力が前回に比べついてきているので継続していこうと思う。さらに広げていけるようにしていきたい。